

One to One

みやぎのNPOを応援します!

平成13年4月に開館した「みやぎNPOプラザ」は、平成17年4月から指定管理者制度を導入し、その管理運営を宮城県では最初の指定管理者となったNPO法人杜の伝言板ゆるるが担ってきました。その指定期間が3月で終了し、昨年の指定管理者公募の審査を経て、新たにこの4月から、私たち杜の伝言板ゆるるが「みやぎNPOプラザ」の管理運営を継続して担うことになりました。宮城県内で活動するNPOが更に力をつけ、充実した活動が継続できるように、支援拠点として頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

2期目の指定管理の業務内容は、『NPO法人の認証に関する書類の縦覧・閲覧』の書類更新業務も加わったほか、経費の見直しを行ったことから、これまでと比べ年間事業が変更になっています。詳細は、県のNPO活動促進室と協議を進めていますので、決まり次第順次お知らせします。

2008年度の事業の概要

みやぎNPOプラザが基本とする会議室や作業室などの「場の提供」を始め、特徴とする情報の受発信機能「みやぎNPO情報ネットの運用」、基盤整備には欠かせないスキルアップの「講座の開催」のほか、私たちの提案事業である、専門家による「NPOのための労務・会計・運営相談会」の開催、シニアの社会参加支援「NPO・ボランティア情報サロン」の開催、地域のNPO支援センターとの連携事業などを実施します。

これまでと違う点は、会計と人材育成の各講座は年間各6回。相談会も会計相談は毎月開催しますが、労務相談が隔月（偶数月）となります。また、これまで6地域で開催してきた地域のNPOと行政、社協をつなぐ地域連携事業は、地域の実情に合わせて、よりNPOが充実した活動を展開できるような環境づくりに貢献する事業を県内3ヶ所で開催する予定です。

一方、県内で活動するNPOの成果物として発行された図書等の「販売代行」は継続して承るほか、NPOが発行したNPOの基盤整備に関する図書も受け付けることになりました。お気軽にご利用ください。

気持ちも新たに

この春、みやぎNPOプラザのスタッフとして4人の新人を迎えました。新人といってもNPO活動の経験が豊富な藤田佐和子副館長から、今年大学を卒業したばかりの初々しいスタッフまで多様な人材です。先輩格のスタッフ共々、総勢11人。NPOの皆さんの力になれるよう誠意を持って運営を担っていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

(館長：大久保朝江)

定款閲覧
・縦覧コーナー



NPO
マネジメント講座

NPO・ボランティア
情報サロン



図書販売コーナー



地域 交流事業 連携

地域で活動するNPOやボランティア団体、地域づくり団体、行政や社会福祉協議会を交えて交流を図ってきた地域連携交流事業は、すでに終了した石巻を含め、6地域で開催されました。いずれも地元団体の協力を得ながら実りある催事になりましたので、その一端をご紹介します。

大崎 NPO法人情報交換会 in 大崎地域

2月28日 大崎合同庁舎2階会議室

大崎圏域は、NPO法人のみを対象として、継続的運営を応援していくための情報交換会を開催しました。参加者はこのエリアのNPO法人5団体8名のほか、地元の社会福祉協議会、みやぎNPOプラザ、NPO活動促進室、そして今回共催した宮城県社会福祉協議会ボランティア総合センターを交えて行いました。

各団体の近況、運営上の疑問や悩み、課題などをゆっくりと聞くことができ、そこにはどこの団体も資金不足、スタッフ不足に悩む姿がありました。その対策についてもお互い意見が交わされました。特に資金獲得については、NPO活動促進室からはみやぎNPO夢ファンド、NPOプラザからも民間の助成金情報が提供されました。

参加者からは「他団体の苦慮している部分がかかって有意義だった」、「もっと多くの団体の参加があれば良かった」という意見を頂きました。

仙南 せんなん・市民活動団体 大相談会&交流会

3月2日 大河原駅前コミュニティセンター(オーガ)

仙南圏域や近隣の町で活動するボランティア団体、NPO法人に加え、行政、地元社会福祉協議会など、様々な分野の方々が集まりました。

今回は、地域で活動する各団体の抱える疑問や悩みを解消するための「NPOのための専門相談」を中心に、意外と知らない団体同士がつながるきっかけの場としての交流会を実施しました。NPO会計相談、NPO法人設立・運営相談、社会福祉協議会によるボランティア相談、高齢者福祉事業相談の4つの専門相談コーナーを設置し、専門家が相談にあたりました。多くの団体の相談がありました。順番を待つ間は、同時進行の交流会で軽食や飲み物をいただきながら団体同士の情報交換がにぎやかに進められていました。初めての出会いもあり、新たなつながりと連携を感じさせる、とても和やかな雰囲気の良い交流会になりました。



気仙沼 NPO・まちづくり大交流会

3月8日 気仙沼市地域交流センター

初旬の春らしい陽気の中、気仙沼市や市社会福祉協議会、みやぎ地域づくり団体協議会気仙沼・本吉支部、県社会福祉協議会の協力のもと、65名もの大勢の参加がありました。

第1部は、「『ひと』と『まち』が輝くために～福祉からのアプローチ～」というタイトルで藤田佐和子さんが基調講演を行いました。「やりがいを持って行動しているときに『ひと』は輝く。仲間を作り、身近な問題を解決しようとする姿勢が、地域づくりやまちづくりにつながっていく。自分ができることから始め、お互いが助け合い、歳をとっても役割のあるコミュニティ作りを目指すこと。地域を市民の目線から見て、気づいたことを声に出し、必要なことを訴え、思いを形にしてほしい。」と、気仙沼の皆さんへ熱いメッセージを送りました。

第2部は、気仙沼・本吉で活動する多様な分野の8団体の皆さんが、会場内に展示したパネルの前でそれぞれに日頃の活動について発表しました。



続いて第3部は、恒例の交流会。名刺を交換しながらお話がすすみました。「初めて知った団体(活動)もあり、いろいろ見聞きすることができてとても刺激になった」という声や、「以前、交流会で知り合った団体の方が、後日、チラシを置きに来ました」という話があるなど、確実に新しい動きへのきっかけ作りができました。



栗原 オラだずこれからなじよすっぺ交流会

3月9日 栗原文化会館

栗原市は、「自治組織」「福祉活動」「教育」「団塊世代」「まちおこし」「福祉教育」と6つのテーマに分かれての意見交換のワークショップを中心に行いました。

はじめに共催した栗原市の佐藤勇市長から挨拶を頂いた後、企画の段階から関わっていただいた3つのNPO法人や栗原市、市社会福祉協議会、地域づくり団体協議会栗原支部の皆さんがコーディネーターとなる意見交換会へと移りました。



各テーマのコーディネーターが自己紹介と共に話し合う内容を説明。参加者の皆さんがそれぞれに関心のあるテーブルに分かれたところで意見交換を始めました。

どのテーブルも和気あいあいとした雰囲気の中で盛り上がりを見せ、1時間ちょっとの間では多少物足りなかつた様子。最後に、各コーディネーターから話し合った内容を手短かに発表されましたが、「だんだんとテーマから外れて話が政治までいってしまった」とか「『ではこれからどうすべきか』というところで終わってしまった…」など時間不足ながらも、「栗原は今ままで十分素晴らしい」「みんな力で力を合わせて取り組んでいこう!」という前向きで強い姿勢が感じられました。

地域連携交流会

～市民発！市長さん聞いて！私たちの夢～

3月20日 登米祝祭劇場小ホール

地域連携交流事業の最終回は、自然や歴史・文化あふれる登米市での開催となりました。主催は、みやぎNPOプラザのほか、登米市のNPOや市民活動団体9団体、登米市、県社協、市社協、みやぎ地域づくり団体協議会登米支部、で作る実行委員会。こじんまりとした中にも劇場という雰囲気が漂う会場では、地元団体の展示があり、そして飛び入りも加えた9団体が、ゲストの布施孝尚市長に対して、工夫をこらしたプレゼンテーションを行いました。どの団体も、自分たちの活動を市長さんに知っていただきたいと、一生懸命、時間も忘れて報告する姿に、会場からは熱い拍手が送られていました。

第2部は、登米で有名な「はっと汁」や豊里町の精進料理「けの汁」などの郷土料理を食べながらの交流会。熱々の「はっと汁」や「けの汁」を味わった参加者は大満足で、話にも花が咲きました。宴もたけなわの頃、先に団体発表した各代表者に市長から自筆のコメントをしたための短冊形の色紙をプレゼント。それぞれ手渡された色紙には、五七五調の素敵なメッセージが記されており、市長が読み上げるたびに参加者から割れんばかりの拍手が送られていました。



宮城県内NPO支援センター情報交換会を開催

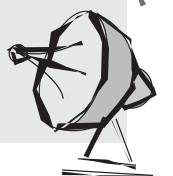
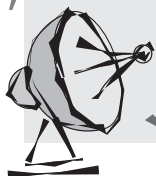
県内のNPO支援拠点や支援組織のスタッフが集まり、それぞれの支援状況や課題について情報交換し、各地域でのNPO支援に活かしていく「宮城県内NPO支援センター情報交換会」。今年度2回目は、2月21日、みやぎNPOプラザで開催しました。

仙台市のほか、大崎市、塩釜市、気仙沼市の各支援拠点とNPO支援組織の職員、そして宮城県NPO活動促進室の職員が参加しました。

今回のテーマのひとつは、情報発信支援の実施内容とその課題について。情報発信支援はNPO支援において重要な業務のひとつです。NPOにとって有益な情報を、いかにして情報誌やホームページでタイムリーに発信し伝えていくのか、NPOが作成したニューズレターやイベントチラシなどの広報に、いかに協力していくかということは、支援の要と言っても過言ではありません。「情報誌の編集方法」「情報誌をどのよう

に市民に届けるか」「進んで手にとってもらえる効果的な情報発信の方法」など、それぞれの取り組みをもとに意見が交わされました。「支援センターに情報があることをもっとPRしていくことも大切ではないか」という意見もありました。

このほか、平成20年度のそれぞれの事業計画や、今後の宮城県のNPO施策など、有益な情報も得ることができました。引き続き平成20年度も開催し、各地で充実したNPO支援が展開されるよう情報交換の機会を作っていきます。



伝授します！総会資料の作り方

まもなく総会を迎えるNPOの皆さん！総会での報告書はもうできましたか？
団体が1年間に活動してきた実績を市民に伝える大事な資料です。分かりやすく、正確なものが求められます。
でも、どう作成したらよいか戸惑ってしまう団体もあることでしょう。そんな団体のために、講師がこれまでの経験を踏まえて具体的に分かりやすい資料作りを伝授します。

- 日 時：4月24日(木) 14:00～16:00
- 講 師：大久保 朝江さん
(NPO法人社の伝言板ゆるる 代表理事)
- 対 象：NPOや市民活動団体の方
- 定 員：30名
- 資料代：500円

行政職員のためのNPO理解講座

- 日 時：5月27日(火) 14:00～16:00
- 講 師：大久保 朝江さん
(NPO法人社の伝言板ゆるる 代表理事)
- 対 象：宮城県内の行政職員、および関心のある方
- 定 員：30名
- 資料代：無料

NPOのための会計初級講座

～帳簿の付け方と領収書などの整理を学ぶ～

- 日 時：5月20日(火) 13:00～17:00
- 講 師：平野 由紀子さん(税理士)
- 対 象：NPOや市民活動、ボランティア活動団体のメンバー等
- 定 員：30名
- 資料代：1,000円

■労務相談

4月24日(木)

※平成20年度から隔月開催となり、次回は6月を予定。

■会計・税務相談

4月25日(金)

■法人設立・運営相談

毎週水曜日

●時間：13:00～17:00

●定員：各3団体(相談時間：1団体1時間程度)

※事前予約が必要です。(申込締切：開催日の6日前)

ミドル&シニアのための NPO・ボランティア情報サロン

4月は何かを始めたい！何かが始まる！季節。それなら、ボランティア・デビューをしてみませんか！実際にNPOで、ボランティア活動をしている方の生の声や、NPOスタッフの「ボランティアよもやま話」が聞けるサロンにお出かけください。
ボランティア活動は「やってみたい気持ち」があれば、誰にでもできるもの。
あなたの想いを活かせる活動が必ずあります。
「NPOボランティア情報サロン」で見つけてみませんか？

●日 時：4月20日(日) 14:00～16:00

●対 象：どなたでも

●参加費：500円(当日参加も受付けています)

【共通事項】

- 会場：みやぎNPOプラザ
- 申込：要予約。所属団体名・参加者氏名・連絡先・電話番号・FAX番号・質問事項などをご記入のうえ、下記までFAX・メール・電話にてお申込み下さい。
- 主催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画・実施：特定非営利活動法人社の伝言板ゆるる

みやぎNPOプラザ TEL:022-256-0505
FAX:022-256-0533

■新規のNPO法人認証団体(平成20年2月7日～平成20年3月末日まで)

団体名	所在地	活動内容
手作りので元気を作る会	石巻市	手作り作品の制作及び制作支援、手作り作品販売支援、インストラクター養成講座支援事業等。
水守の郷・七ヶ宿	七ヶ宿町	高齢者が生き活きと安心して暮らせる水源地を目指し、一次予防を重視した健康増進活動を行う。持続可能な水源地を目指す教育プロジェクトを推進し講演会などを開催。
名取市体育協会	名取市	各種スポーツ事業の企画運営、スポーツ施設の環境整備等スポーツに関する普及事業。
みんしん	仙台市宮城野区	地域産業に関する情報提供・連携交流・調査・人材育成・組織支援等。
みやぎ環境の未来	大河原町	バイオ燃料製造販売事業等を通じた持続可能な社会の先進地形成事業。
仙南広域工業会	柴田町	地域産業に関する情報提供・連携交流・調査・人材育成・組織支援等。
鬼首山学校協議会	大崎市	都市農村交流の推進、地産地消等地域循環システムの構築、地域情報の収集と発信。

One
to
One

発行日：2008年4月15日
発行：宮城県民間非営利活動プラザ
編集：特定非営利活動法人社の伝言板ゆるる

〒983-0851 宮城県仙台市宮城野区榴ヶ岡5
TEL:022-256-0505 FAX:022-256-0533
e-mail:npo@miyagi-npo.gr.jp
URL:http://www.miyagi-npo.gr.jp

2008
APRIL
vol.43

「One to One」は、県内各地でのさまざまなNPO活動により、ひととひととが信頼でつながって、よりよい市民社会が形成されるよう願いを込めたニューズレターです。

NPOボランティア講座

会計講座

専門相談会

ボランティア情報サロン